



GY-HM850ファームウェアアップデート(V0307)について

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。

NTP(Network Time Protocol)時刻取得機能の追加

ストリーミングに重畳されたNTPを基にした“TC(タイムコード)”により再生同期が可能になりました。
NTPから取得した時刻をシステムの時刻合わせに使用できます。

■ メニュー項目：[TCジェネレーター]を追加

- ・ [システム...] → [ネットワーク] → [設定] → [NTP設定...] → [TC]が“OFF”の場合、“SW Set”固定になります。
- ・ [システム...] → [ネットワーク] → [設定] → [NTP設定...] → [TC]が“ON”の場合、“Free Run(NTP)”固定になります。

■ メニュー項目：[NTP設定...]を追加

- ・ NTP時刻のTCへの設定：[システム...] → [ネットワーク] → [設定] → [NTP設定...] → [TC]
- ・ NTPサーバーアドレス：[システム...] → [ネットワーク] → [設定] → [NTP設定...] → [サーバーアドレス]

“TC”が“ON”の場合、[TC/UB設定] → [TCジェネレーター]は“Free Run(NTP)”固定になります。
“TC”が“ON”の場合、[TC/UB設定] → [TCプリセット]は“<NTP>”固定になります。

[システム...] → [日時設定] → [USER2]ボタンでNTP時刻をシステム時刻に反映できます。

■ ステータス項目：[ネットワーク]に[NTP]を追加

- ・ [ネットワーク] → [NTP]：NTPサーバー検出同期状態

“NTPサーバーアドレス”が設定されている場合、NTPサーバーとの同期状態が表示されます。
ただし、表示の更新に時間がかかることがあります。
お急ぎの場合は、一旦電源をお切りになり、再度電源を投入してください。

“NTPサーバーアドレス”が設定されていない場合、“マスターモード”が表示されます。
ただし、電源投入時にネットワークが接続されていない場合は、“非同期”が表示されます。

■ LCD：TCロック状態を追加

- ・ “TC”ロック時の表示(OSD)

“TC”が“ON”且つ“NTP”が“同期”のときにモニターの「TC」表示の左側に“L”が表示されます。

メモ： NTP時刻を反映したTC情報は、数フレーム程度の誤差を生じる場合があります。
NTP時刻を反映可能な場合のみ、[システム...] → [日時設定] → [USER2]ボタンでの設定が有効になります。

Zero Config 情報提供機能の追加

同一LAN上に接続された当社取扱商品「Streamstar Xシリーズ」にて、カメラレコーダーの自動検出が可能になりました。

■ メニュー項目：[Zero Config...]を追加

- ・ ネットワーク情報応答：[システム...] → [ネットワーク] → [設定] → [Zero Config...] → [アナウンス]
- ・ ホスト名のプレフィックス：[システム...] → [ネットワーク] → [設定] → [Zero Config...] → [ホスト名]

■ ステータス項目：[ネットワーク]に[ホスト名]を追加

- ・ [ネットワーク] → [ホスト名]：mDNSプロトコル上で使用する本機のホスト名

ホスト名は、“XXXX-YYYY.local”の形式で設定されます。
XXXX：[ホスト名]で設定した文字列(最大8文字)
YYYY：本機のシリアル番号

[アナウンス]が“OFF”の場合は、本項目の表示はされません。

メモ： セルラーアダプター使用時、[アナウンス]は“—”固定となり、Zero Config情報提供機能は無効となります。
Zero Config情報提供機能は、一般的な「zeroconf機能」とは異なり、自機の設定を変更する機能は搭載していません。

同梱レンズ(1/3型AF ZOOMレンズ)以外のレンズでのWeb Iris操作に対応

同梱のレンズ以外のレンズであっても、レンズケーブルでカメラ本体と接続可能なレンズであれば、ビューリモコン機能や別売のリモートコントローラー「RM-LP100」などを使用し、ネットワーク経由でのIRIS制御を可能にしました。

メモ：

- ・ 全てのレンズで動作を保証するものではありません。
- ・ 全ての状況で動作を保証するものではありません。
- ・ リモートコントローラー「RM-LP100」ではMANUALモードのみ操作可能です。
- ・ “AUTO”→“MANUAL”の切り替え後のIRIS開閉動作は、一時的に所望の動作を行えない場合があります。